



石塚建設興業株式会社
飯沼 剛 さま
(第9期受講生)

受講者の声

1. 受講のきっかけを教えてください。

弊社は中小企業大学校で短期の様々な講座を受講しておりましたが、自分は総務部長が長く、部門長になるタイミングで、社長から受講を勧められました。ちょうど企業全体を俯瞰的に見ようと思っていたところでしたので“経営管理者養成コース”の受講を決めました。私は総務部に属していますので、組織などを学べる高橋ゼミに決めました。

2. 本コースの良かったところを教えてください。

研修中は、普段の仕事から離れて会社を外から眺めることで、視野を広げることが出来ました。また、一部門の見方から、経営側にとって会社全体を見ることができたのが大変良かったです。

あと、社員との接し方が変わりました。現在、社員との個人面談を行っているところで、自分は部門長として、一人一人に接するなど意識に変化を感じています。部下も年下だけでなく年上の方もいますので、話し方には気を付けています。私も感情を抑えて話すことができるようになりました。

高橋講師からは、プレゼンの時の話し方や文書の作成方法など人に対する伝え方を細かく指導いただきました。このコースを受講しなければ学ぶことが出来ませんでした。

今年度の経営管理者養成コースのOB会は参加できませんでしたが、同期とは連絡を取っています。来年度は是非、都合が合えば参加したいと思います。

3. 経営管理者養成コース卒業後の状況について、教えてください。

弊社の課題である人材の安定確保として、企業委託生制度により普通科の高校生を採用後、建築と土木の専門学校に派遣している状況です。資格取得も在学中に可能で、現在は安定的に採用できています。他には、今年はコロナが明けたので、大学回りも行い、採用することができました。女性技術者については、企業委託生制度で採用した方のうち、女性の方がいまして、建築の方に派遣しています。外国人技術者はベトナムの方を2名採用しています。

昨年度、高橋講師のフォローアップを受けて、改善活動を進めています。

キャリアプランについては、評価方法や給与体系を変えました。評価後、社員一人一人との面談を通じて、フィードバックしています。このことも経営管理者養成コースを受講しなければ、ここまでできなかったと思います。

4. 今後についてお聞かせください。

今度、弊社内で教育プログラムを充実させようと考えています。特に階層別の研修では、社員を昇進したタイミングで旭川校に派遣することを考えています。稚内では、教育を受ける専門機関がないので、旭川校に派遣できればと思っています。異業種の方と接触して勉強するのはいい刺激になりますし、弊社のことが客観的にわかるようになりました。このような環境で学べる大学校に是非弊社の社員を派遣したいと考えています。

石塚建設興業株式会社
代表取締役社長
石塚 英資 さま



派遣担当者の声

中小企業大学校に行くということは、会社の代表として行くことになると思っています。会社にいる時は、自分の守備範囲を決めて仕事をするのですが、会社の外に出るということは、会社全体に対して責任を負うことにもなると感じています。そうすると、仕事の守備範囲は一切関係なくなります。

私も中小企業大学校の経営管理者養成コースを含めて、様々な講座を過去に何度も受講しており、社員には学ぶことの大切さを体験させる為に積極的に受講するよう伝えていきます。大学校では、他の企業からも受講者が学んでおりますので、いろんな話をして良い刺激を受けました。他の受講者からは、弊社に対する評価も行っていただきました。

飯沼氏は、総務部に属していますが、労働安全にも関わっており、現業と接する機会が多く、その中には荒い方もいて以前は交渉しても負けて帰ってくることもありましたが、今では負けることはなくなりました。相手を納得させるといったことも出来るようになりました。

また、彼の上司との信頼関係が強くなってきており、いろんな部分で会社の経営に携わっていると感じています。

私の息子も現在、東京校の後継者コースで研修を受講中で、坂本ゼミの元で頑張っています。

会社概要

石塚建設興業株式会社(稚内市)

事業内容:建設業(建築、土木、電気管工事)

資本金:70,000千円

創立:昭和20年10月 設立:昭和38年12月

従業員数:86名(令和5年4月1日現在)



ビジネスゲーム



講義



成果発表会